

# くしろ



ホームページ  
QRコード



## ～アグリネット946～

アグリネット946は釧路管内の5組織（鶴居村農友会・JA阿寒青年部4Hクラブ・白糠町4Hクラブ・酪匠HBC・弟子屈町4Hクラブ）、81名が加入しています。

毎年、12月に開催されるアグリミーティングでは各グループのプロジェクト活動とアグリメッセージの発表やグループ間の情報交換と交流を図っています。

令和2年度から、新型コロナウイルスの影響で行事が中止となっていますが、感染が落ち着いたら会員間の農場見学や研修会などを実施する予定です。

上 アグリミーティングの様子  
(令和元年12月)



下 釧路管内農場の視察研修  
(令和元年7月)

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

## 重点活動の紹介(中西部支所)

## 茶路地区での重点活動スタート

釧路中西部支所では、令和3年度から5カ年の計画で、白糠町茶路地区を対象に支援し、成果の上がった内容を他地域に普及する活動（重点的活動）を行っています。

今年度は、①乳牛の安楽性改善に向けて、酪農試験場と連携しながら牛舎通路の溝切り施工や、②乳牛の疾病減少に向けて、ボディコンディションスコア調査による飼料給与の改善などの支援を行いました。



牛舎通路の溝切りを支援

また、③草地植生の改善に向けて、植生を反映させた草地マップの作成を支援し、技術情報誌を配布して早春施肥および土壌診断の実施を呼びかけました。

現在は、これらの取り組みの継続的な支援や効果の検証を行っています。

今後も茶路地区の乳牛飼養管理及び草地管理を支援し、成果の上がった内容は茶路地区外へ普及できるよう活動していきます。



技術情報誌を配布

## 地域の話(本所)

## 自宅でも気軽に講習会を！

「しべちゃ町農業女性カレッジ」では、新型コロナウイルスの影響により集まることが困難な中で、女性農業者に「学習の場を提供したい」との役員の思いから、令和3年10月～12月に計3回のリモート講習会を開催しました。

JAしべちゃ本部を会場とし、参加者は農業者や関係機関等、オンライン参加を含め延べ80名以上となりました。

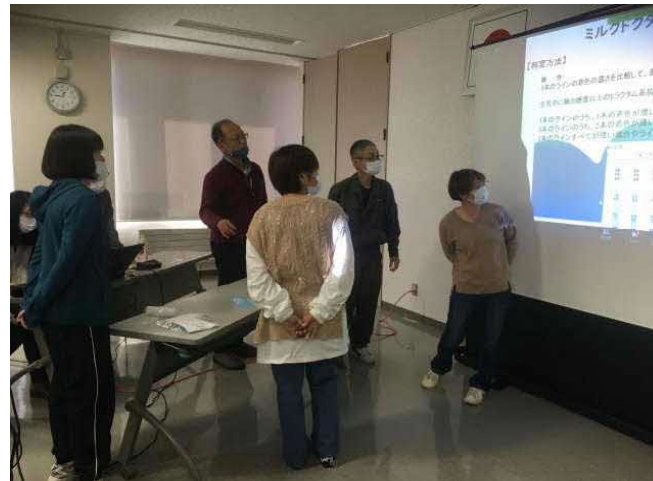
講習会では、別海町の優良農家の動画視察

や、獣医師による周産期疾病対策、蹄病管理についての講義が行われました。また、講義後はチャット機能を用いて活発な質疑応答が行われました。参加者からは、「普段は会場に行けない人も参加できて良かった」「慣れてきたら、遠方の講演会も配信してほしい」等、好評な感想が聞かれました。

普及センターでは、今後も女性カレッジと共に、様々な視察・講習会を通して女性農業者の学習支援を行っています。



講習会の様子(12月)



リモートで乳質検査キットの使用方を説明



## 推進事項の紹介

### 高付加価値化の取組

普及センターでは、農畜産物の高付加価値化に取り組む農業者や志向者の活動を支援しています。また、釧路管内の取組情報をホームページ等で発信し、「釧路の美味しい農畜産物」の理解を広める取組をしています。

今年度は、高付加価値化の取組志向者を対象に先進事例研修「ファームバリューアップ講座」を開催しました。(有)竹下牧場(中標津町)の竹下耕介氏を講師に招き、起業化に向け「夢や目標を具体的に紙に表し、夫婦で

共有すること」や「地域に根ざした商品づくりと販売方法」について学びました。参加者からは、「自分の構想を紙に描いてみたい」と、夢の実現への一歩につながりました。

12月には、中小企業家同友会主催の乳製品消費拡大イベントに協力し、これまで普及センターが蓄積した情報を活用して、管内の乳製品の展示を行いました。普及センターは今後も高付加価値化の取組を支援し、取組者の情報はホームページで紹介していきます。



オンラインと集合で開催



管内の生乳から作られた製品を紹介

## 推進事項の紹介

### 広域(クリーン・有機)の活動

広域クリーン・有機は、「だいこんのヒメダイコンバエ総合防除技術の確立」と「有機農業者の経営安定化」を課題に取り組んでいます。近年、だいこん生産ではヒメダイコンバエ幼虫による根部食害が多発し、経営に大きく影響しています。ヒメダイコンバエは発生地域が道東の一部に限られ、生態は解明されていません。また、だいこんの登録農薬が無いので、効果のある薬剤を明らかにする必

要があります。生産者、道立北見農試、JAしべちや、ホクレン釧路支所、普及センターが協力して薬剤試験を実施しました。普及センターでは、成虫の発生消長調査や耕種の防除の推進にも取り組んでいます。

有機農業者の経営安定化では、個別に巡回して情報提供や技術支援を行っています。有機農業者の情報はホームページで紹介していきますのでご覧ください。



薬剤試験ほ設置作業



ヒメダイコンバエ幼虫による被害



牛の能力向上に向けて、1回のほ乳量が増えています。ほ乳の作業性や利便性の改善を図るため、浜中町・厚岸町内で自作されているほ乳バケツや瓶ホルダーについて紹介します。

乳首つきほ乳バケツのホルダー



例①  
ほ乳バケツを固定するため、釘で取手をかけられるようにし、木材を加工したニップルの挿入口より角度がつくようにした。



例②  
溶接加工により、ほ乳バケツを固定できるホルダーを作成した。ニップルの挿入口は木材を加工し、差し込みにより組み立てられる様に設計されており、交換できる。

ほ乳瓶が変わっても対応可能なホルダー



塩ビパイプを用いてホルダーを自作した。パイプの直径の範囲内であれば、ほ乳瓶が丸形・角型ともに対応可能となった。ほ乳瓶挿入時は、ゴムバンドで瓶に引っ掛け、瓶が飛び出ないようにした。

※下の器はウォーターカップを再利用したスタータ給与用容器



ほ乳量の増加に伴って、ほ乳瓶が変わっても大丈夫。

